

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 ワイテック 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町曾田3-74

(3) 業種

3133 自動車部分品・付属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 28 年度を基準年度とし、平成 29 年度から令和 3 年度までの 5 年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度		計画期間の実績									
		上段：見込量 (b)	下段：削減率 (c)	(上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))									
	平成28年度	令和 3年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
エネルギー 起源CO2	7,154	6,697	-6.4	7,174	-0.3	6,939	3.0	5,779	19.2	4,802	32.9	100.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 実排出量総計	7,154	6,697	-6.4	7,174	-0.3	6,939	3.0	5,779	19.2	4,802	32.9	0	100.0
温室効果ガス みなし排出量													
実績に対する 自己評価	基準年度に比較してCO2排出量が35.4%と大幅に減少しているが、コロナ禍の影響があり生産量が約22%減少しているために排出量削減を評価できる数値ではない。												

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産個数

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績								
		上段：目標 (b)	下段：削減率 (c)	(上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))								
	平成28年度	令和 3年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
エネルギー 起源CO2	0.000165	0.000152	-7.5	0.000165	-0.3	0.000160	2.6	0.000183	-11.3	0.000176	-7.0	100.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計	0.000165	0.000152	-7.5	0.000165	-0.3	0.000160	2.6	0.000183	-11.3	0.000176	-7.0	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	0.000059	0.000055	-6.8	0.000059	0.0	0.000057	2.7	0.000068	-15.5	0.000074	-25.4	100.0
実績に対する 自己評価	コロナ禍による生産調整があったために効率的な生産が出来ず、原単位評価で基準年度に比較して増加傾向となってしまった。											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量原単位で前年度比1.5%削減を目標とする	設備と連動した機器の自動運転化 省エネ照明設備の導入 不要設備の電源OFF 冷暖房温度の適正管理 設備動作の効率化による省エネ改善の実施 インバータを活用した機器運転の導入
2	化石エネルギー使用量の削減 (ガソリン、軽油)	化石エネルギー使用量前年度比 1.5%削減を目標とする	荷置レフト最適化によるフォークリフトの走行距離短縮(軽油) 軽油の使用量監視 使用機会ごとの燃料使用量監視(ガソリン) ドライブレコーダーによるフォークリフト運転状況監視
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	ISO14001 取得		全社でのISO14001への取り組み活動実施
2	省エネ活動の実施		月1回の会議実施により各工場の省エネ活動の取り組み状況、結果の報告および工場間での情報交換を実施
3	社内コスト削減報告会での省エネ活動報告 実施		月1回実施の社内コスト削減報告会において省エネ活動の実績および活動計画を報告

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。